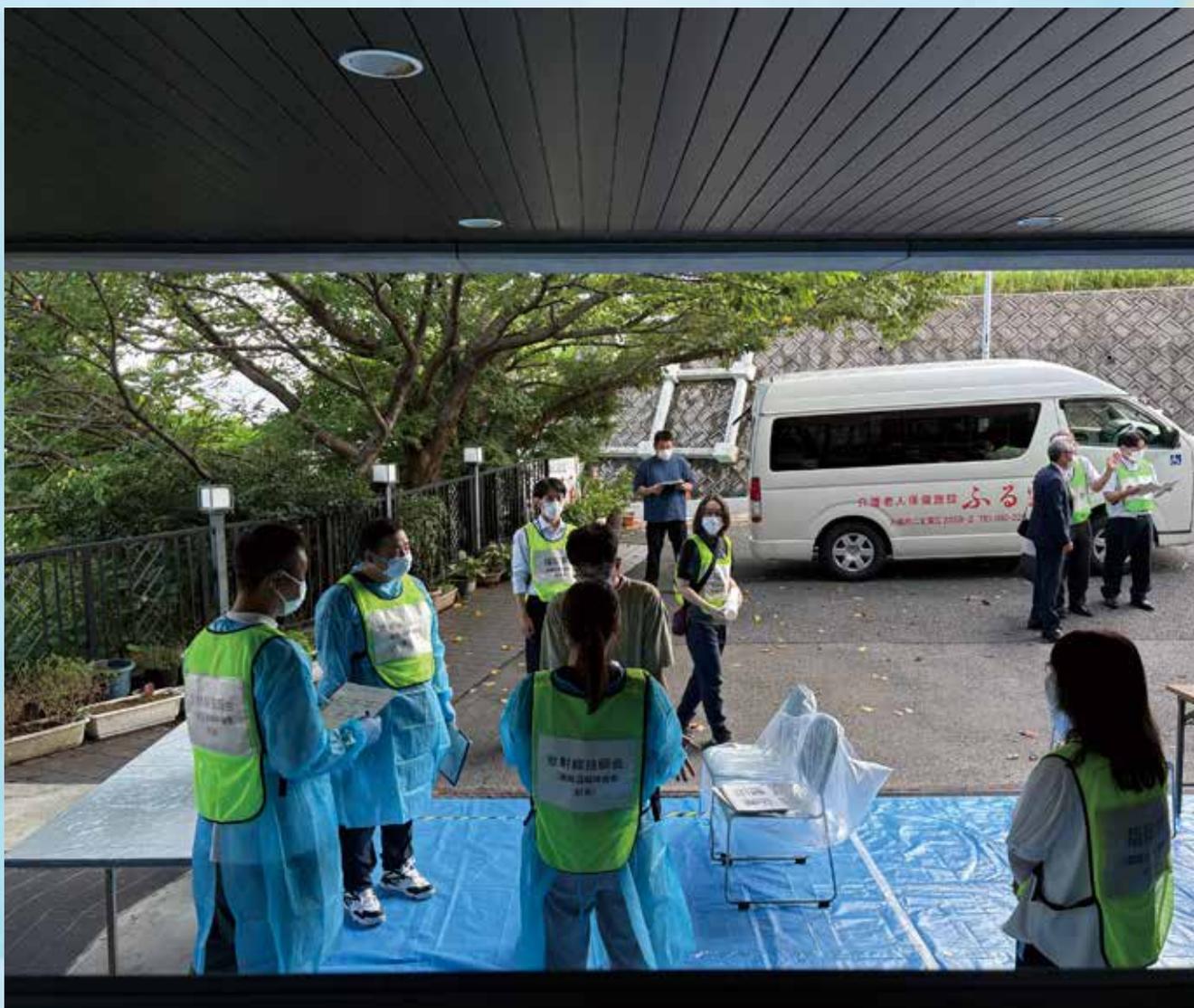


放射線技術部だより

社会医療法人財団白十字会白十字病院 放射線技術部 広報誌



原子力災害

今年度、当院は原子力災害医療支援病院に登録されました。万が一原子力災害が起きた際、私たちがどのような活動をするのか紹介していきます。



原子力 防災訓練に 参加 しました！

10月5日、福岡県が実施する原子力防災訓練が行われました。本訓練は原子力災害が発生した際の迅速かつ効果的な対応を目的としており、地域の安全を守るために重要な取り組みです。訓練に参加した防災業務関係者は、実際の災害時にも対応できるよう、意識向上と連携の強化を図っています。

今回、当院から4名の診療放射線技師が訓練に参加しました。1名は「春吉中学校」にて放射線に関する健康相談を、残りの3名は「介護老人保健施設 西寿」会場で、放射性物質による汚染の可能性がある避難者がいるという想定のもと、専用の測定器を用いた簡易検査を行いました。

実践的な経験を積む良い機会になったと同時に、このような訓練を通じて、地域全体の防災能力が向上し、住民の安心と安全が守られることを願っています。

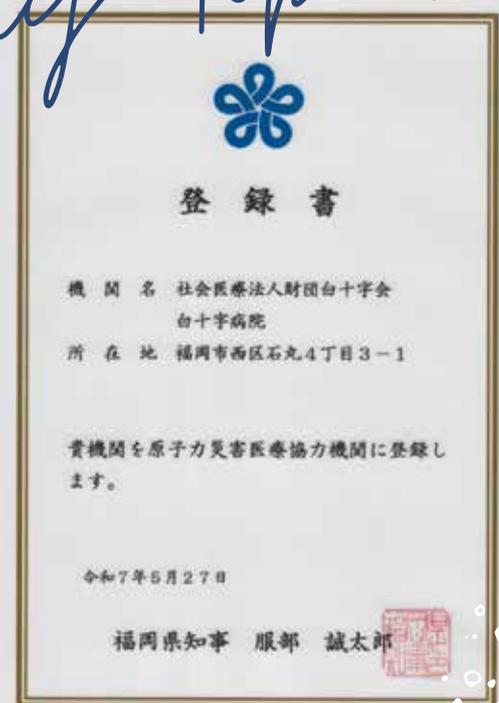
この度、当院は原子力災害医療協力機関として新たに登録されました。

原子力災害医療協力機関とは、原子力災害医療や立道府県等が行う原子力災害対策等を支援する機関のことです。福岡県内では8機関目に当院が認定されました。

九州では佐賀県と鹿児島県に原子力発電所があり、有事の際の備えが必要です。当院には放射線物質による汚染の有無を測定できる検査要員が在籍しています。国又は立道府県等からの指示に基づいて、避難住民の方に対し被ばく地域から避難区域へ向かう際の放射線物質による汚染の測定検査を行います。

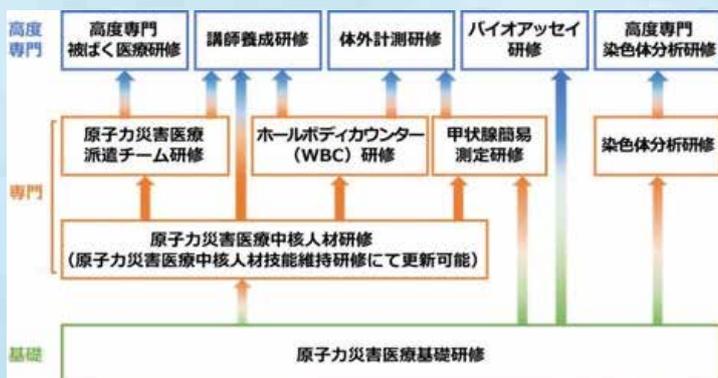
地域医療の一翼を担う施設として、万が一の災害時にも地域の皆様の安全・安心を守る体制を整えてまいります。

Big Topics!



原子力災害医療協力機関に
登録されました！

TRAINING | 被ばく医療研修を受講中



(図 引用：国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構)

原子力災害医療協力機関としての登録に伴い、現在、被ばく医療研修を受講しています。

原子力災害を含め、災害はいつ起こるか分かりません。だからこそ日頃からの備えと知識の習得が重要です。研修を通じて専門的な知識を深め、いざという時に適切な医療を提供できるよう、スタッフ一同研鑽を積んでまいります。

地域の皆様に安心していただける医療機関を目指し、今後もさまざまな災害医療体制の強化に取り組んでまいります。

CONSULTATION | 放射線被ばく相談員



当院には、日本診療放射線技師会が認定する「放射線被ばく相談員」の資格を所有する診療放射線技師が在籍しております。医療のみならず放射線被ばく全般の相談に対応できる人材として認定された資格です。

本誌2ページ目に記載した訓練の一環として、「健康相談訓練」に参加し、糸島市住民の方を始めとし、健康講話をさせていただきました。少しでも被ばくに関する不安解消に繋がっていれば幸いです。

もちろん、放射線検査で気になる点があれば、放射線被ばく相談員に限らずお気軽にご相談ください。

医療で使用する放射線は必要ときに必要な分だけ使用していますので、安心して検査を受けていただいても大丈夫です。



そうなんだ～～！
聞いてみて良かった！

MINI MESSAGE | 本年もお世話になりました

本年も放射線技術部の取り組みにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

年末年始は12月30日～1月4日まで休診となり、緊急時を除きこの期間の放射線検査はお受けできません。ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

新年も安全で確実な検査の提供と、丁寧な対応を大切に取り組んでまいります。

寒い日が続きますので、どうぞ体調にお気をつけください。

皆さまが良い新年も迎えられるよう心よりお祈り申し上げます。

